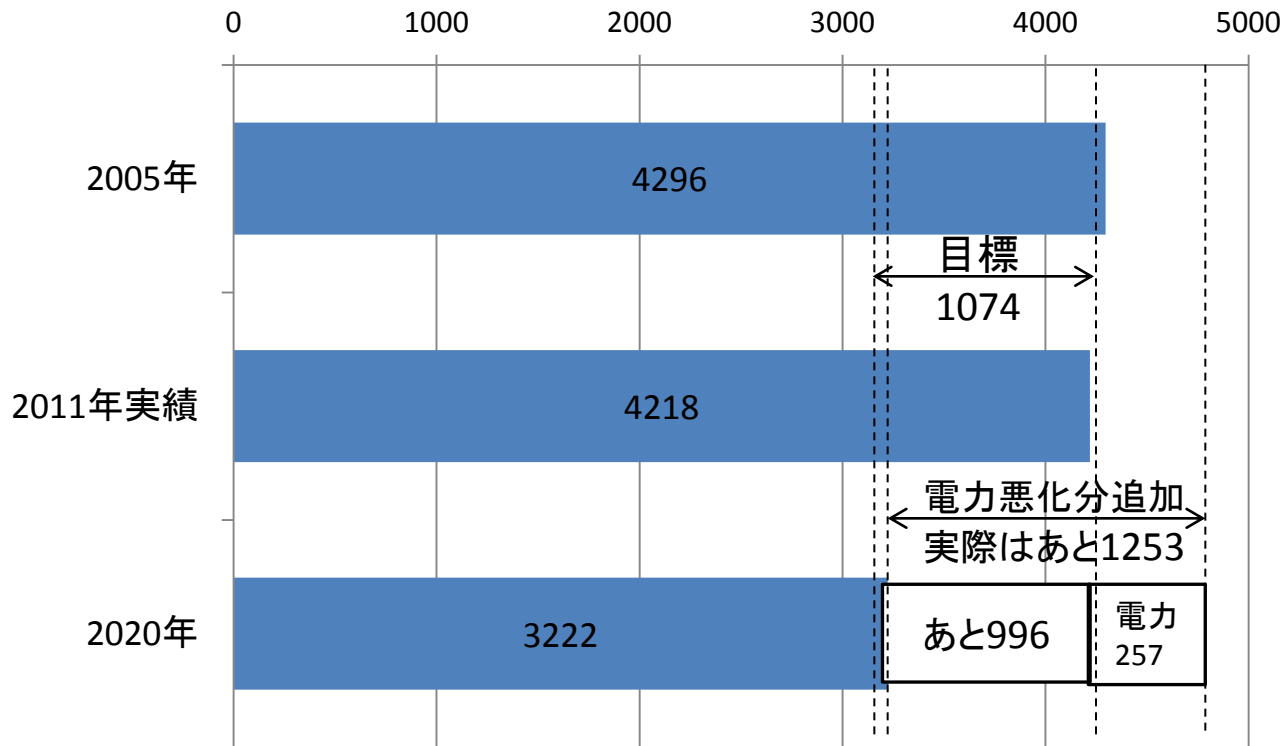
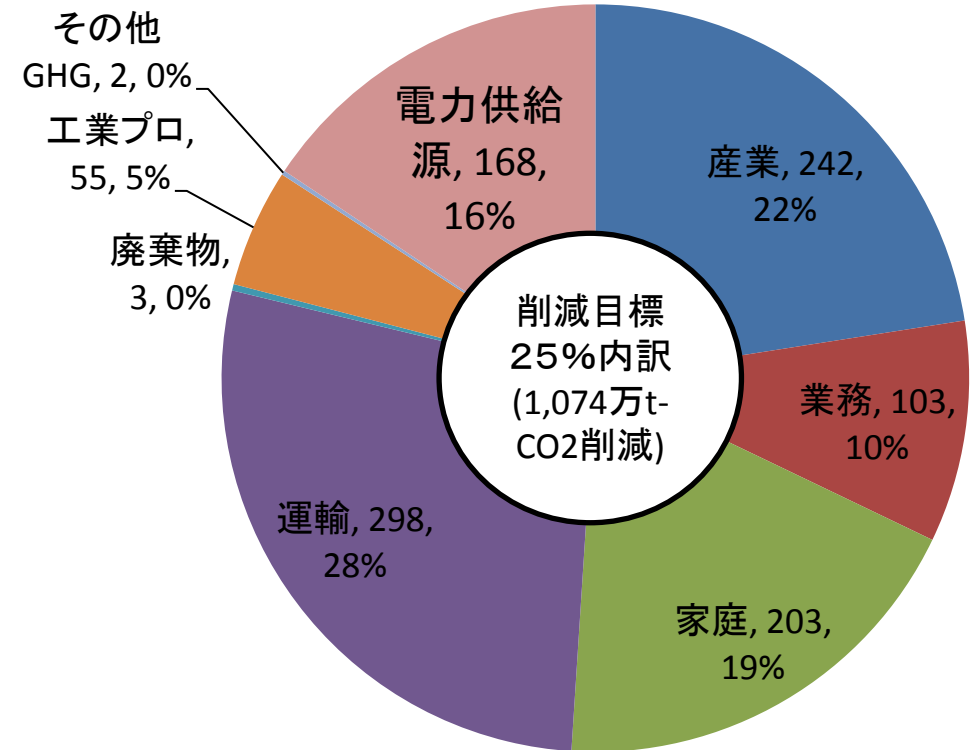


～現状の電力排出係数からみた削減目標量と現状とのギャップ～

全体(単位:万t-CO2)

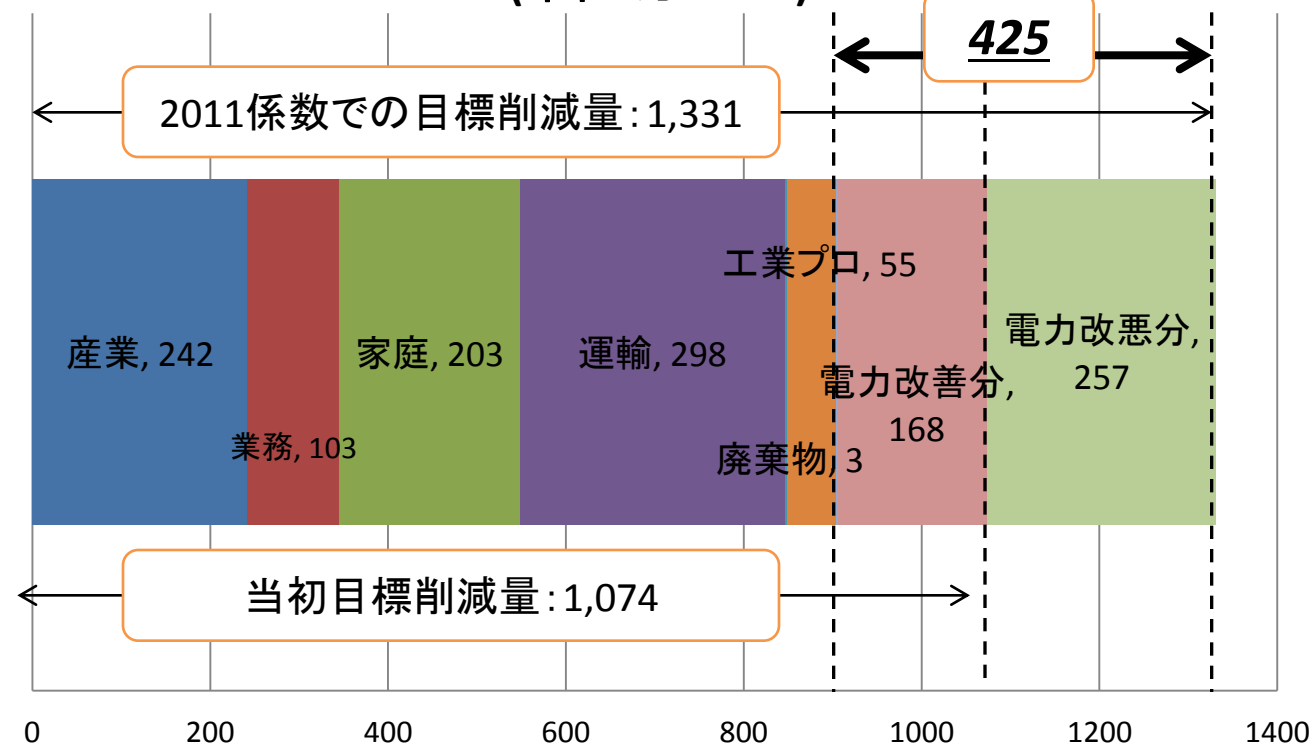


電力供給・当初削減見込み



電力分をカバーするには
新たに追加対策が必要

2011電力係数を用いた削減見込み (単位:万t-CO2)



◎ 電力供給源対策の当初見込み

電力排出係数改善: ▲17%を見込む
(H17:0.368kg-CO2/kWh→H32:0.304kg-CO2)
⇒逆に悪化H23:0.464kg-CO2/kWh【+26%】

◎ 2011電力排出係数を用いた場合、

削減すべき目標量1,074万t-CO2→1,331万t-CO2(+24%)

◎ マラソンなら距離が42km⇒52kmに伸びた!

⇒ それだけでも425万t-CO2分の新たな対策が必要

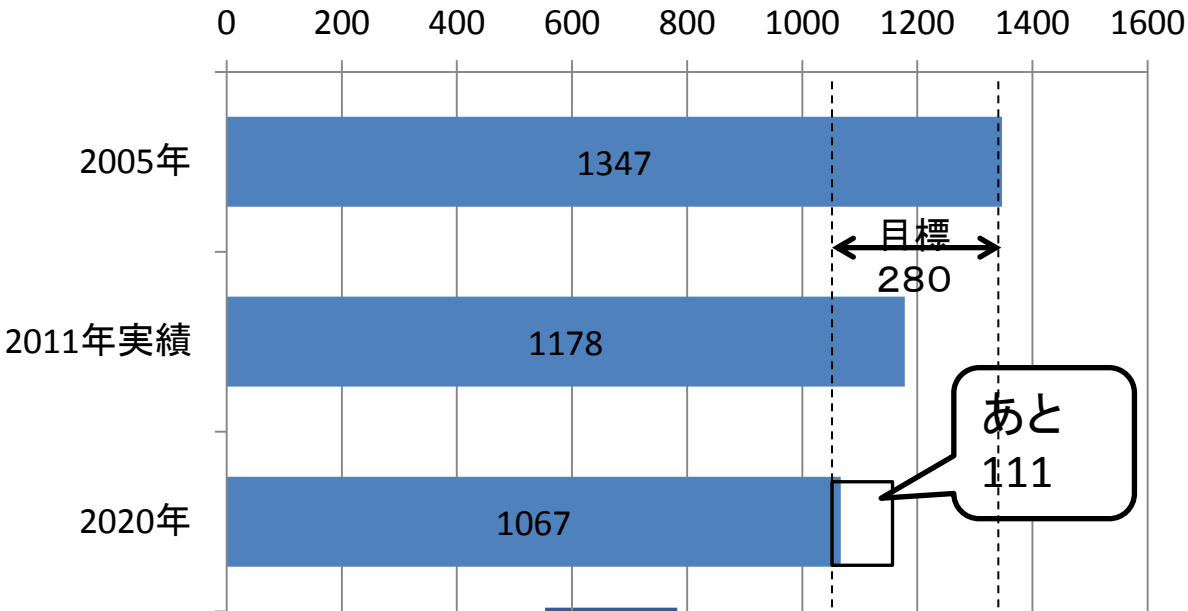
削減目標の現状と目標設定の議論のあり方②

～ナビP23 部門別の温室効果ガスの現状と削減見込み～

	1990(H2) 万t-CO2	2005(H17)		2020年 (H32)BaU 万t-CO2	2020(H32) 見込み 万t-CO2	BaUと 削減見込みとの差 (万t-CO2)			2005年と削減見込みとの差			削減目標の 内訳	
		万t-CO2	90年比			計	削減措置 による効果	供給側対 策による 効果	計	削減措 置に よる効果	供給側 対策に よる効果	供給側対策	4%
産業部門	1,835	1,586	-13.6%	1,564	1,251	313	275	38	335	297	38	産業	7%
						-20%	-18%	-2%	-21%	-19%	-2%		
業務部門	442	610	38.0%	745	456	289	225	64	154	103	51	業務	2%
						-39%	-30%	-9%	-25%	-17%	-8%		
家庭部門	567	762	34.4%	789	481	308	228	80	281	204	77	家庭	5%
						-39%	-29%	-10%	-37%	-27%	-10%		
運輸部門	890	1,049	17.9%	1,056	749	307	305	2	300	298	2	運輸	7%
						-29%	-29%	-0.2%	-29%	-29%	-0.2%		
廃棄物部門	131	139	6.1%	143	136	7	7	0	3	3	0	廃棄物	0.1%
						-5%	-5%	0%	-2%	-2%	0%		
その他温室効果ガス等	229	151	-34.1%	183	149	34	34	0	2	2	0	その他温室 効果ガス 森林吸収源 対策	0.05%
						-19%	-19%	0%	-1%	-1%	0%		
合計	4,092	4,296	5.0%	4,480	3,222	1,258	1,074	184	1,074	906	168	計	25%
						-28%	-24%	-4%	-25%	-21%	-4%		

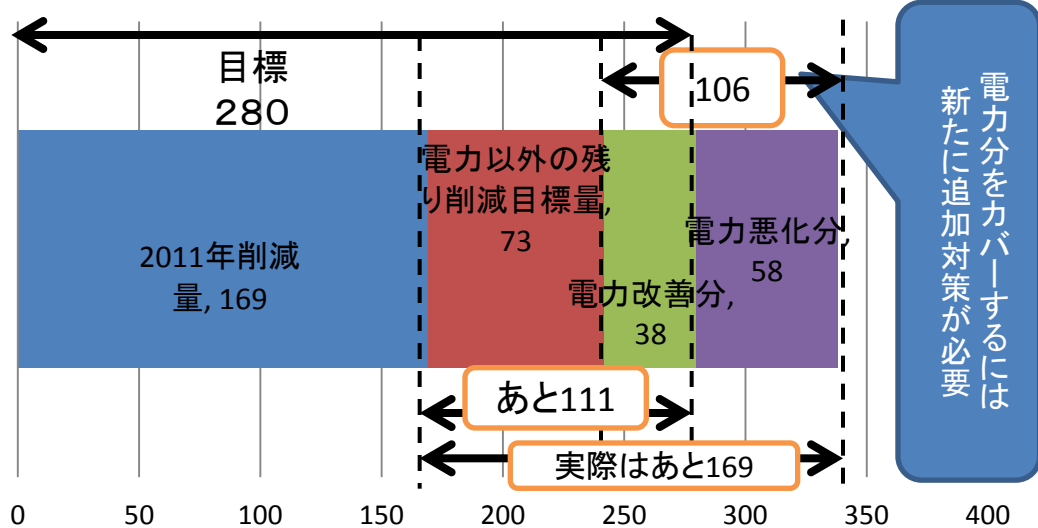
～①産業部門と②業務部門の削減目標量と現状とのギャップ～

①産業部門(単位:万t-CO2)



電力排出係数の悪化を加味すると

産業部門の削減必要量(単位:万t-co2)

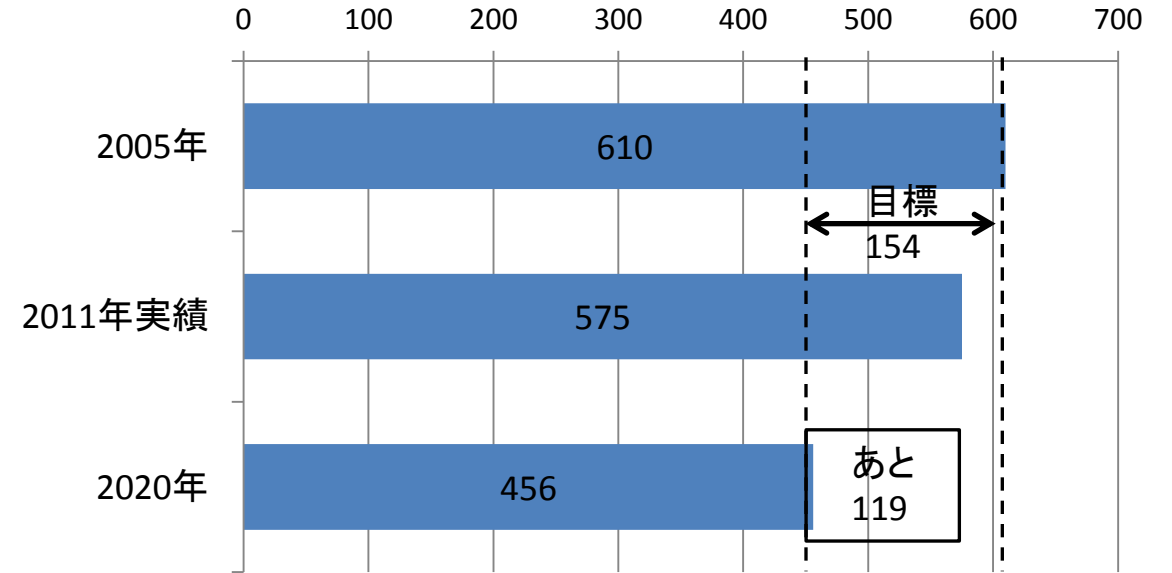


現状の主な対策予定規模感

◎目標設定型排出量取引制度

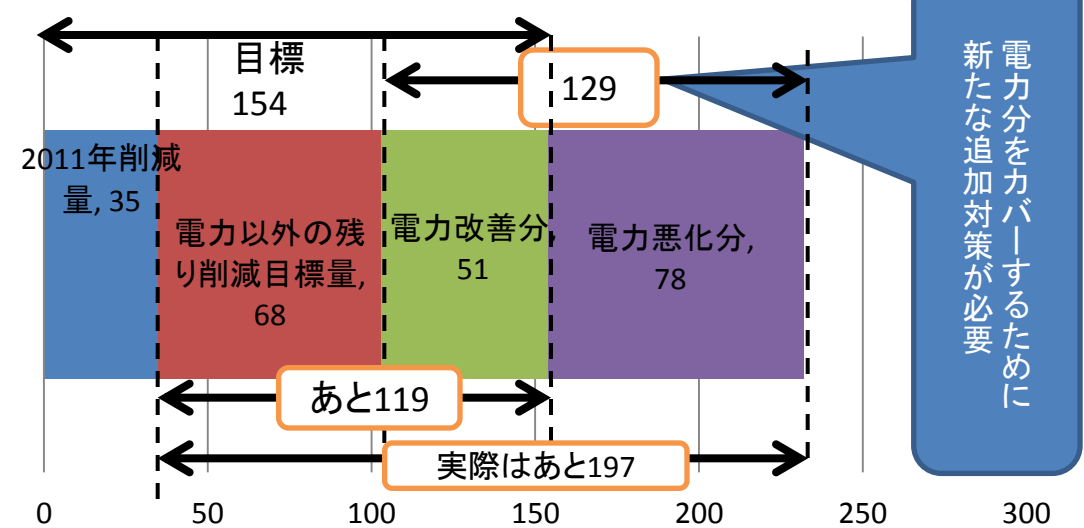
$$\text{目標削減量} 186 \text{万t-CO}_2 - \text{H23削減量} 163 \text{万t-CO}_2 = \underline{25 \text{万t-CO}_2}$$

②業務部門(単位:万t-CO2)



電力排出係数の悪化を加味すると

業務部門の削減必要量(単位:万t-co2)



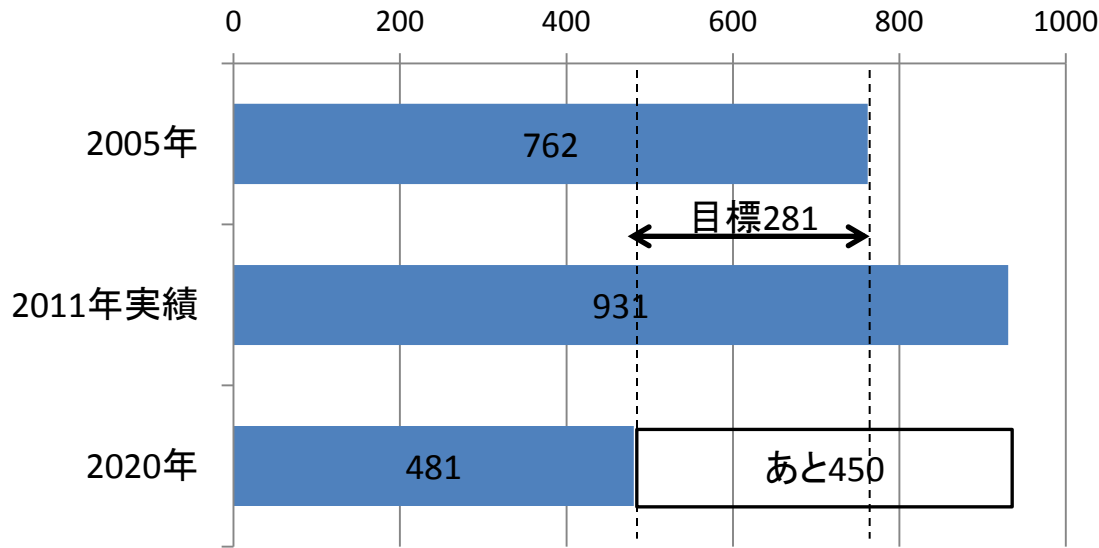
現状の主な対策予定規模感

◎目標設定型排出量取引制度

$$\text{目標削減量} 25 \text{万t-CO}_2 - \text{H23削減量} 25 \text{万t-CO}_2 = \underline{0 \text{万t-CO}_2}$$

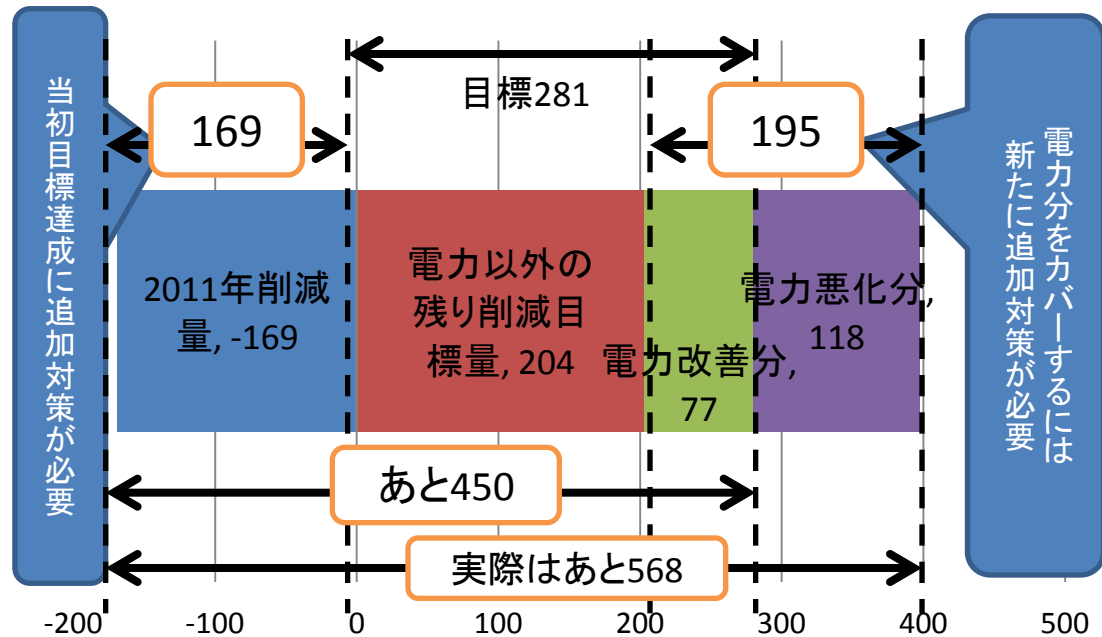
～③家庭部門と④運輸部門の削減目標量と現状とのギャップ～

③家庭部門(単位:万t-CO2)



電力排出係数の悪化を加味すると

家庭部門の削減必要量(単位:万t-co2)



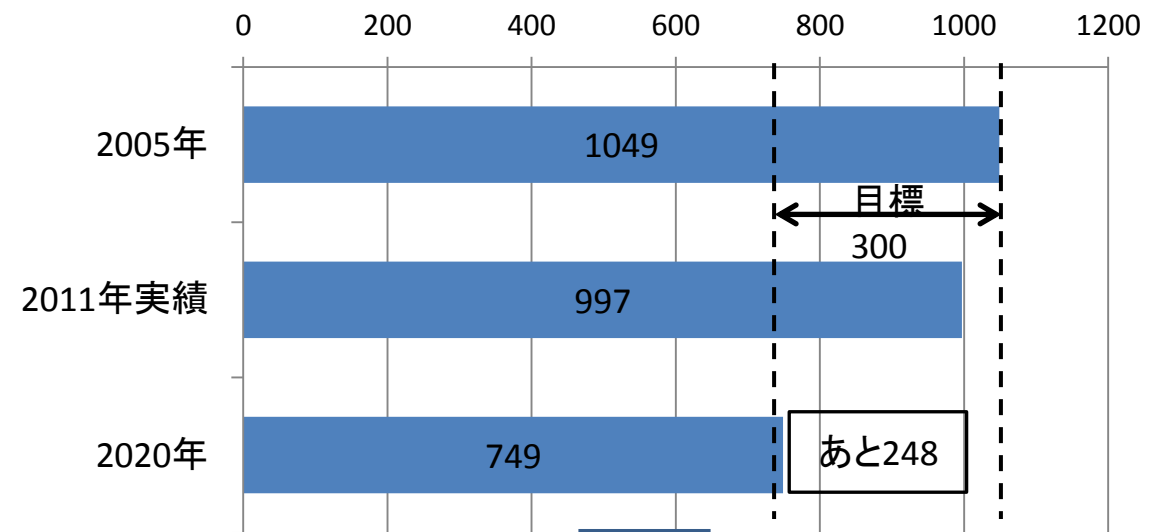
現状の主な対策予定規模感

◎住宅用太陽光発電設備

$$H24.12 \text{ 7万基} \Rightarrow H32(2020) \text{ 22.6万基}$$

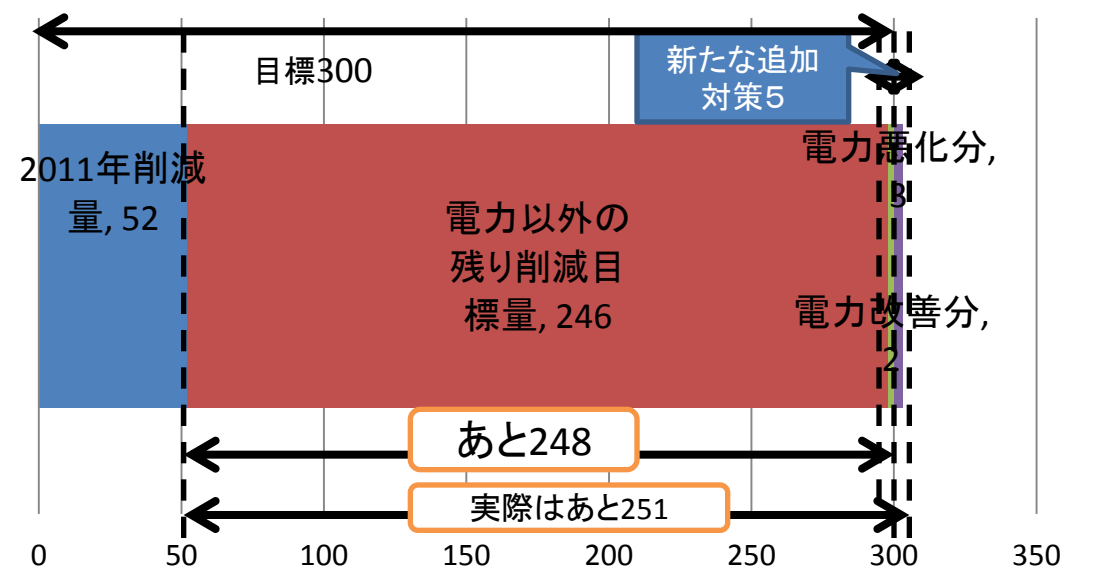
$$4kW \times 1.1千kWh \times (22.6 - 7万基) \times 0.464t-CO2 = \underline{32万t-CO2}$$

④運輸部門(単位:万t-CO2)



電力排出係数の影響は殆どない

運輸部門の削減必要量(単位:万t-co2)



現状の主な対策予定規模感

◎次世代自動車の普及

$$\text{目標削減量} 122万t-CO2 - H23削減量 \text{ 万t-CO2} = \underline{\bullet\bullet万t-CO2}$$

～目標設定に関する議論のあり方～

1 現行の目標を最大限尊重する

2 新たな施策を積み増す

3 1、2を前提に、どのように目標を考えていくべきか